

公共事業再評価調査

整理番号 H16 - 6

担当部課室名	農林水産部 農村整備課	電話番号	017 - 734 - 9554
		E - MAIL	NOSONSEIBIKA @ags.pref.aomori.jp

再評価実施要件	未着工	長期継続(5年)	再評価後(年)	その他 ()
---------	-----	----------	----------	---------

1 事業概要

事業種別	農業農村整備事業	事業主体	県	市町村	その他()		
事業名	県営水田農業経営確立排水対策特別事業	地区名等	入口	市町村名	六戸町、五戸町		
事業方法	国庫補助 県単独	財源・負担区分	国50%	県35%	市町村15% その他 %		
採択年度	H11年度(用地着手 年度 / 工事着手 H11年度)						
終了予定年度	H17年度(H 年 月計画変更 当初計画時 年度)						
事業目的	本地区は六戸町東部に位置し、六戸・五戸両町にまたがっている水田地帯である。現況水路は水深が浅いため地域一帯は地下水が高く排水不良地となっている。また、洪水時には断面が狭小で流下能力不足のためたびたび冠水被害を受けていることから、本事業により地下水を低下させるとともに降雨時には排水をスムーズに流下させることにより、水田の汎用化を図り、にんじん、ニンニクなどの転作作物の作付けを可能とし、経営の複合化による農業経営の安定に資するものである。						
主な内容	排水路工 L = 4,600 m						
事業費	採択時総事業費 760 百万円 (単位:百万円)						
		~13年度	14年度	15年度	16年度	小計	17年度~ 合計
	計 画	432	150	130	130	842	51 893
	(うち用地費)	()	()	()	()	(0)	() (0)
年 月変更							
実 績	432	150	130	130	842	51 893	
(うち用地費)	()	()	()	()	(0)	() (0)	

2 評価指標及び項目別評価

(1) 事業の進捗状況

(A) · B · C

事業の進捗状況	事業費割合		計画全体に対する進捗	年次計画に対する進捗
	(うち用地費)		94.3 % [/]	100 % [/]
	排水路工 (893百万円)		(- %) [/]	(%) [/]
	主要工種毎割合 (事業費)	延長割合	92.8 %	100 %
		%	%	%
説明	計画的に事業を実施しており、平成17年度で完了する見込みである。			
問題点・解決見込み				
事業効果発現状況	全体延長L = 4,600 mのうちL = 4,271 mが完成しており、既に事業効果が発現している。			

(2) 社会経済情勢の変化

(A) · B · C

社会的評価	全国・本県における評価	【全国の評価】 農業水利施設の有する洪水防止などの多面的機能について、国民の関心が高まってきていることから、本事業などによるその機能の保全・回復が必要となっている。	【県内の評価】 県内においても、農業水利施設の有する洪水防止等の多面的機能の保全・回復に対する理解が深まってきていることから、その機能の保全・回復を通じ、農業生産性の向上と地域農業の活性化を図るためにも、事業の必要性が高まっている。	
	当地区における評価	当地区の水田の冠水被害を解消するとともに乾田化を可能にし、緊急生産調整推進計画に基づいた農業経営を行うことにより、農業生産性の向上と地域農業の活性化を図るため、本事業による幹線排水路の改修が必要である。		
必要性	経年変化による排水路の老朽化や土砂の堆積等により排水路の機能が著しく低下しており、地域住民からは排水路の改修が強く要望されていた。そのため、本事業を重点的に進め、排水路の機能を保全・回復することとしたものである。			(a) · b
適時性	国の「米政策改革」を推進するために、県が策定した「青森県米づくり改革計画」で示されている「転作作物づくりの推進」に向けた取組みが今後は必要であり、市町村単位で作成される「地域水田農業ビジョン」の実現を支援するために、本事業で排水路の改修を行い、洪水被害を防止するとともに耕地の汎用化や畑地化を推進するものである。			(a) · b
地元の推進体制等	本排水路については、受益農家125戸全員の同意を得ている。緊急生産調整推進計画に基づく活動を通じて両町が積極的に支援していることから、今後の事業実施における障害はない。			(a) · b
効率性	農業水利施設の有する洪水防止等の多面的機能の保全・回復を通じ、地域農業の生産性向上と転作作物の作付けの集団化を推進するなど地域住民の連帯意識の醸成に資する。			

(3) 費用対効果分析の要因変化

(A)・B・C

区分	主な項目	計画時	再評価時	増減
費用項目 (C)	(1)排水路工	690 百万円	714 百万円	24 百万円
	(2)付帯工	40 百万円	42 百万円	2 百万円
	(3)その他経費	173 百万円	181 百万円	8 百万円
	(4)関連事業	630 百万円	630 百万円	0 百万円
	(5)	百万円	百万円	0 百万円
	総費用	1,533 百万円	1,567 百万円	34 百万円
便益項目 (B)	(1)農業生産向上額	772 百万円	752 百万円	20 百万円
	(2)農業経営向上効果	1,047 百万円	955 百万円	92 百万円
	(3)生産基盤保全効果	70 百万円	70 百万円	0 百万円
	(4)	百万円	百万円	0 百万円
	(5)	百万円	百万円	0 百万円
	総便益	1,889 百万円	1,777 百万円	112 百万円
B / C		1.23	1.13	

【費用対効果分析手法】（分析手法、根拠マニュアル等）
 農林水産省構造改善局長通達（土地改良事業における経済効果の測定方法）
 【費用対効果分析における特記事項】
 再評価時点で作物単価と営農経費等を見直したことにより総便益が減となりB/Cは0.1減少した。

(4) コスト縮減・代替案の検討状況

(A)・B・C

コスト縮減	【コスト縮減の検討状況】 排水路の基礎として再生砕石を使用しコストの縮減を図っている。 地域内からの土砂の搬出入が極力少なくなるようにするなど努めている。	(a)・b
代替案	水路の形状の決定に当たっては、経済性や維持管理の容易性などの面から「現場打ち水路」、「大型水路」、「ブロック積み水路」、「L型水路」の4タイプについて比較検討を行なった結果、総合的に有利で一般的な「大型水路」としたものであり、妥当である。	(a)・b

(5) 評価に当たり特に考慮すべき点

(A)・B・C

住民ニーズの把握状況	【住民ニーズの把握方法】 「入口・中堤申し合せ組合」が設立されており、事業説明会や座談会等の開催により、住民のニーズの把握に努めている。	【住民ニーズ・意見】 経年変化による排水路の老朽化や土砂の堆積等により排水路の機能が著しく低下し、転作作物の導入が困難な状況であり、受益農家からは排水路の改修を強く要望されている。	(a)・b
環境影響への配慮	【地域別環境配慮指針への対応】 (1)地域区分 <input type="text" value="k7e"/> (2)対応状況 <input type="checkbox"/> 配慮している <input type="checkbox"/> 配慮していない 【特記事項】 環境配慮として、貴重な動植物を施行区域で発見した場合は移植などを行う。	【開発事業等における環境配慮指針への対応】 <input type="checkbox"/> 配慮している <input type="checkbox"/> 配慮していない	(a)・b
地域の立地特性	農業振興地域、野菜指定産地、広域営農団地整備計画などの指定を受けている。		

3 対応方針

総合評価	継続	計画変更	中止	休止（林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る）
評価理由	本事業は、水田の排水条件が不良で転作が困難な地域を対象に、地下水を低下させるなど水田の汎用化のための基礎条件を改善し、経営の複合化による農業生産性の向上を図ることから、完成に向け継続して実施する。			
備考				

4 公共事業再評価審議委員会意見

委員会意見	対応方針(案)どおり	対応方針(案)を修正すべき		
委員会評価	継続	計画変更	中止	休止（林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る）
附帯意見				
評価理由				